



# アトピー性皮膚炎

アトピーとは？

アトピーとはギリシャ語で、『奇妙な』という意味で、アトピー性皮膚炎は、かゆみの強い、特有の発疹があらわれ、良くなったり、悪くなったりします。

皮膚は、赤みがあらわれたり、ざらざらして乾燥していることが多く、アトピー性皮膚炎の患者さんの皮膚は、健康な人に比べて、いろいろな刺激に敏感になっていますが、原因が何かは、はっきりしていない『奇妙な』皮膚炎なのです。

この奇妙なアトピー性皮膚炎を引き起こす素因は、食べ物、ダニ、カビ、細菌、ストレス、かぶれ、刺激、ペット、汗、汚れ、日光、乾燥、不規則な生活、飲酒、などなどいろいろ言われていますが、原因、悪化の素因を確かめせずに自分で、処理して皮膚炎がひどくなってしまふ事も多いようです。

自己判断せずに、専門医を尋ね、きちんと治療を行うようにしましょう。

治療を行いながら、どんな時にかゆみが強くなるかを患者さん自身が気をつけて、ライフスタイルを改善していくことも大切です。

かさかさした皮膚を傷つけ、いろいろなアレルゲンが入っていかないようにかゆみを減らす日常の注意事項をあげてみました。

周囲の方々も、耐えがたい慢性的なかゆみにつらい思いをしている患者さんの気持ちを、理解してやさしく接してあげてください。

## 百人百様とは

- 1) 画一的ではないということ
- 2) 個々の違いを認めるということ
  - \*手間と時間をかける必要がある
  - Th1 / Th2 balance
  - 細胞性免疫      体液性免疫
  - (貧食型)      (ミサイル型)

\*アトピー性皮膚炎：細胞性免疫が低下している。

\*\*日本を含めた先進国では、細胞性免疫が低下しているが、インドなどの途上国では低下していない。化学物質やストレスの関与が示唆されている。